



市民病院

ハちゃん通信

11月は薬剤耐性(AMR)対策推進月間です

問 市民病院感染制御室 ☎ 48-5050

風邪を引いたからと抗菌薬をもらいに病院に行っていないですか？そもそも風邪などウイルスによる感染症に抗菌薬は効きません。抗菌薬は細菌に対して効果があるもので、不適正な使い方により、その抗菌薬が将来効かなくなることがあります。今、世界中で抗菌薬の効かない耐性菌が増加しています。

感染症を引き起こす微生物に対して薬が効かなくなること「薬剤耐性」と呼び、英語でAntimicrobial Resistance=AMRと略されます。このまま何も対策をとらない場合、2050年には1000万人の死亡が想定されています。これは現在世界の死亡順位1位の悪性腫瘍による死亡者数を超えるといわれています。そのため、国は毎年11月を「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」として定め、様々な啓発を行っています。

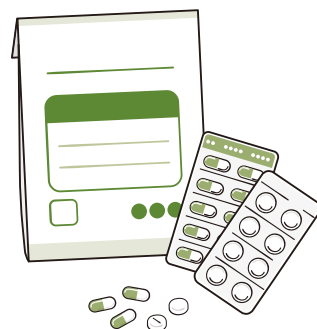
▼「学ぼう、知ろう、取り組もう ～薬剤耐性～」

今年は、薬剤耐性(AMR)についてのポスター展示やリーフレットの配置をします。

リーフレットを見ていただき、「知らなかった」「言われてみれば」「ついつい…」など、疑問の解決や新たな発見が得られると思います。皆さん一人ひとりの力でできることもあります。一緒に薬剤耐性(AMR)について考えてみませんか？

時 11月4日(火)～7日(金)

所 市民病院



11月14日は世界糖尿病デー 全国糖尿病週間にあわせてイベントを開催します

問 市民病院生理検査室 ☎ 48-5050

11月14日はWHOが提唱した世界糖尿病デーです。糖尿病が世界的に拡大しているのを受け、糖尿病に対する注意喚起、重症化の予防や治療継続を呼びかけるキャンペーンが世界中で行われます。このキャンペーンでは、青い円＝ブルーサークルをシンボルマークとして用いたり、歴史的な建造物を青色でライトアップしたりすることで糖尿病に関する啓発活動を行っています。

今年のテーマは“みんなで正しく理解しよう「ダイアベティス」”です。ダイアベティスとは糖尿病の英語での呼び名Diabetes (ダイアベティス) mellitus (メリタス) に由来しています。今でも糖尿病という言葉によって受ける誤解や偏見が根強くあります。そこで、2023年に糖尿病に対する正しい理解を促進するためにダイアベティスという呼び名が提唱されました。糖尿病があるないにかかわらず、この機会に糖尿病とうまく付き合っていく方法を一緒に考えてみませんか。

11月14日を含む1週間を日本では全国糖尿病週間としており、市民病院でもイベントを開催します。

▼世界糖尿病デーinへきなん

時 11月11日(火) 9時～13時 所 市民病院

内 血糖測定、HbA1c (ヘモグロビンエーワンシー) 測定 (数に限りがあります)、動脈硬化の程度 (血管年齢) が分かる検査、体組成チェック、骨密度測定、各種相談 (薬・栄養・歯周病・眼科)、糖尿病関連グッズがもらえるスタンプラリー、医師によるミニ講演会 (10時～10時15分、11時30分～11時45分)

¥ 無料 申 不要

